

兵庫商品開発プロジェクト DEN

DEN

(執筆者 荒川 紗季)

1. 団体説明

兵庫商品開発プロジェクト DEN は、「田畑の恵みを町へ」をコンセプトに、生産者と消費者をつなげたいという想いで活動を行っている。管理栄養士を目指す食環境栄養課程の学生のみで構成されており、授業で学んだ知識を生かしている。

主な活動内容は、町屋でのカフェ営業、福崎町と連携して特産品であるもち麦の振興活動、地域のイベントでの出店販売などである。

2. 活動紹介

DEN は、カフェ班・スイーツ班・もち麦班・サンドイッチ班・マップ班の 5 つの班で構成されている。カフェ班・スイーツ班は、毎月季節やテーマに合わせ、旬の食材を使ったランチメニューやスイーツの考案・試作を行う。もち麦班は、福崎町と連携し、もち麦を使ったメニューを考案して福崎町のイベントに出店したり、親子料理教室を開いて食育なども行っている。サンドイッチ班は、年に 2 回のサンドイッチカフェのメニューを担当し、カフェで提供するドリンクの考案も行う。マップ班は、SNS などでの広報活動や、カフェのメニューに使われている食材についてのリーフレットの作成などを行う。

2019 年度の活動記録を以下の表に示す。

表 1. 2019 年度の活動 (1/26 現在)

主催活動
・カフェ営業 (毎月第 2・4 土日 38 日間) ・DEN 開発商品「かけるもちむぎ」製造販売
福崎町との連携活動
・福崎町食育親子料理教室 (2 回開催) ・福崎町秋祭り出店販売 ・福崎町〇〇まるしえ出店販売
その他地域イベント 2 件

2019 年度の活動で特に印象に残っているのは、家島プロジェクトと合同で行った「カフェいえしま」である。夏休みに実際に 2 回家島を訪問し、地元の方々に教わりながら、新鮮な魚など家島の食材を使ったランチを考案し、12 月にしょうあんて提供した。島の人々の温かさにふれ、食を通して家島の良さを伝えることができ、非常に貴重な経験であった。このような取り組みは初めてで大変なことも多かったが、その分達成感を得ることができた。

3. 活動を通して学んでいること

DEN の活動を通して、実践的なことをたくさん学んでいる。カフェ営業では、食事の盛り付け方や彩りを工夫したり、献立を考える際に栄養バランスに気を付けたり、旬の食材を取り入れるなど、管理栄養士として働くために必要な力を養っている。また、カフェに来たお客さんや地域の人々など、幅広い年代の方と接する機会が多いため、コミュニケーション能力を高めることができる。さらに、イベントなどでは自分から積極的に動く力や、想定外のことに迅速に対応する力なども身につけることができる。

4. 今後の展望

今後は、今まで以上に一人一人の意識を高めて活動に力を入れ、食の素晴らしさを伝える活動を続けていきたい。カフェ営業では、メニューにもっとこだわり、たくさんの方に来て頂けるよう宣伝活動にもより力を入れたい。地域のイベントにも積極的に参加し、食を通して地域の活性化に貢献していきたい。



図 1: カフェのランチメニュー
(所属学生撮影)



図 1: 西二階町キャンドルナイトでの出店の様子
(所属学生撮影)